

今回は、三市三校連携・高校生ポスター交流会の報告です。

◇ 関市・各務原市・美濃加茂市の三市連携とは？

2015年、関市・各務原市・美濃加茂市の三市は、地方創生に基づく岐阜県広域連携協定を締結しました。「まちの創生」「ひとの創生」「しごとの創生」について3市で調査・研究を行い、問題解決へとつなげていくことが目的です。

今までに、三市のつながりをBRIDGEと命名しその魅力を発信するイベント、「私の休日—BRIDGEの書齋」(イオンモール各務原)や、「三市をつなぐ橋・名古屋から岐阜へ」とつなぐ橋」(名古屋テレビ塔)が行われています。

◇ 県立高校での「ふるさと教育」と高校生による探究活動

一方、岐阜県の県立高校では、第3次岐阜県教育ビジョンにより「ふるさと教育」が開始されました。生徒がグローバルな視野をもちつつ、地域の魅力を知り、地域の方々と協働しながら地域課題の解決を目指す「探究的な学び」を推進することで、「社会を生き抜く力」の養成を図ろうとする活動です。すべての県立高校が対象であり、各校の特性に応じて、様々なグループに分けられています。

このうち関高校は「地域共創フラッグシップハイスクール」の、各務原西高校や加茂高校は、「地域課題探究型学習推進事業」の指定を受けています。三校ともに、それぞれが立地する自治体、企業、大学などとの連携の下、地域の課題を「発見」しその解決に向けての方策を提案する研究を行っています。

自治体間の連携に呼応して、地域課題に取り組む高校生の活動に関する交流の機会を持つことはできないか。三市、三校で協議した結果、代表生徒による対面でのポスターセッションを実施しようとの企画が進みましたが、残念ながら、緊急事態宣言によって中止となり、代わってポスター交流を実施することとなりました。たがいにポスターを交換し合い、コメントしあうというイベントです。

この試みに、自治体職員や一般市民の皆さんも加わってくださいました。本校生徒も他校のポスターを目にし、テーマ設定や分析手法、表現の仕方、具体策の提示などに関し、大いに刺激を受けたようです。

以下、本校生徒の作成したポスターに関する代表的なコメントを紹介します。



< LGBT研究について >

・・好感が持てたのは、探究の仕方です。このテーマに関しては、インターネットや書籍にも数多く紹介されており、情報を集めようとするれば、パソコン一台あれば、情報をどれだけでも集めることができます。しかし、そうしたデータに頼ることなく、自分たちが実際に動いて実態を調べようとしたところに意義を感じました。美濃加茂市と関市の認知度を比較した調査については、行政の働きかけと関連させながら見てみると、非常に興味深い結果が出

ていると思います。実際にアンケートを取る際には、デリケートな話題であるため、データの収集に苦勞されたと聞いています。そうしたエピソードの中にも、この問題の難しさが含まれており、一つ一つのデータに奥深さを感じました。

また、関市立図書館に依頼し、LGBT書籍コーナーを設置した動きからは、この活動が単なる探究活動ではなく、市民に対する「意味ある啓発活動」の役目も果たしていると思いました。関市立図書館長さんにお話を伺ったところ、このコーナーには、多くの市民の方が関心を寄せ、本を手にとってみている姿が見られたとおっしゃっていました。高校生がこうした活動をしていることに驚きを感じるとともに頼もしさを感じたと話してくださいました。

さらに、LGBTの関係団体の方と直接交流することで、当事者でしかわからない思いや悩み、困ったことを取材できたのも、大きな成果だと思います。今後、パンフレットや漫画としてどのように表現されていくのか、とても楽しみです。

表現方法については、写真や表、吹き出し、イラスト等を適切に配置し、内容を理解しやすいような工夫が随所になされています。また、関市のマークや人権に関わるロゴ、レインボーカラーなどの情報を、さりげなく入れこんでおり、説明のないところにもメッセージが発信されている完成度の高いポスターになっています。関市役所や関係団体との取材が生かされ、一人よがりな作品になっていないと感じました。

今後は、この活動が一過性のものではなく継続して探求され、ゆくゆくは、後輩たちにも引き継いでいかれるような息の長い研究になるとうれしいです。また、高校生自身がこの問題に対して、どう考えているのかも知りたくくなりました。ぜひ、広がりのある研究を継続していただきたいと思います。コロナ禍で、社会全体に閉塞感が漂う中、高校生のみなさんの前向きに探究する姿に、元気と勇気をいただきました。今後のご活躍を期待しています。

<キウイの焼肉たれについて>

洞戸地域の特産品であるキウイと焼き肉のたれを組み合わせることは斬新でインパクトがあるなと思いました。キウイ自体は収穫の時期によってシーズンがあったり、生ものということでも年中どこでも手に入れられるという手軽さのあるお土産ではないですが、この焼き肉のたれが実際に商品化されれば、よりたくさんの人にキウイを楽しんでもらえると思います。岐阜県民といえはBBQというイメージがあるので、県内の人にもおすすめしやすいなと思いました。

キウイに含まれる酵素の効果について、はじめに論文をもとに仮説を立てて活動している点がすごいと思いました。調理実習では、何パターンも試行錯誤されており、検証の結果、ベストの比率を導き出されており、非常に説得力があって良かったです。また、実際に地元の飲食店とコラボして活動している点も素晴らしいですね。関市の特産品であるキウイを焼き肉のたれという新たな方面で活用することで、さらに地元での地産地消や地域産業の活性化に役立てたいという熱い思いが伝わってきました。ぜひ皆さんの作られたキウイのたれで焼き肉を食べてみたいです！

高校生の活動の成果をぜひご覧ください！

高校生地域探究活動 ポスター展示

令和3年度から、主に高校生や大学生の「影響」を対象とした事業に關して、関市、美濃加茂市、各務原市が、3市連携の一環として取り組んでいくことになりました。

この活動のキープオフとして、3市に所属する高校生がこの1年間取り組まれてきた地域探究活動の成果をポスターで展示します！

期 間	令和3年2月16日（火）～令和3年2月24日（水）
時 間	午前9時～午後5時
会 場	わかぐさ・プラザ 学習情報館1階 小壁高スペース
展示内容	各高校が取り組んできた地域探究活動の成果をポスター<参加高校> 関高等学校（関市）、加茂高等学校（美濃加茂市）、各務原西高等学校（各務原市）ほか 全7校

会場に各ポスターの感想を記入できるスペースを設けています。ご記入いただいた感想は、ポスターを作成した高校生へ届けますのでぜひご覧ください！

【問合せ】 関市役所市政課 0575-23-7711